

#KEEP
BLUE+GREEN
National Park

町のすべてが、
国立公園。

みんなでつくる、
奥多摩のいきもの展

2026年11月7日(土)ー2027年1月11日(月祝)

開館：11月まで10:00～17:00　12月・1月は16:00閉館
※12:00～12:45 昼休憩あり ※最終日のみ15:00閉館
休館：月曜日（祝日の場合は翌日/11月24日休館）年末年始/12月28日～1月4日
主催：奥多摩町まちづくり委員会・奥多摩町立せせらぎの里美術館

入館無料

奥多摩町立せせらぎの里美術館
東京都西多摩郡奥多摩町川井53 TEL：0428-85-1109
アクセス：JR青梅線「御嶽駅」、「川井駅」より徒歩20分［駐車場：あり］

あなたが描く一枚が、
奥多摩の風景になる。

秩父多摩甲斐国立公園 / 奥多摩ゾーン　Chichibu-Tama-Kai National park / OKUTAMA zone

制作：奥多摩町まちづくり委員会

#KEEP BLUE+GREEN National Park



#KEEP BLUE+GREEN National Parkとは

町域の全てが秩父多摩甲斐国立公園に含まれている奥多摩町。この稀有な環境をしっかりと次世代へ手渡ししていくために、奥多摩町まちづくり委員会がはじめた取り組みが「#KEEP BLUE+GREEN National Park」です。
“禁止”ではなく“物語”で風景を守り、一人ひとりの行動によって風景をつくっていく──。
そんな姿勢を軸に据えながら、国立公園に暮らす町として、自然も人も持続可能な、あるべき姿を目指します。



奥多摩町は、全域が国立公園に含まれる、全国でも数少ない町です。
けれど、ここで暮らす私たちにとって、森や川は「国立公園」である前に、日常の風景です。

この展覧会に並ぶのは、そんな日常の中で、この町に暮らす人、通う人、訪れた人── 立場も世代もさまざまな参加者が、ふと出会ったいきものたちの記録です。

名前も知らないまま描かれた虫。
川底でじっとしていた魚。
庭先に、いつからか来るようになった鳥。

ひとつひとつは、ささやかな発見にすぎません。
けれど、それがこうして一堂に集まったとき 見慣れたはずの奥多摩の姿が、少しだけ違って見えてくるかもしれません。

ここに並ぶのは、誰かひとりの特別な作品ではありません。
この町に息づくたくさんの発見が集まって、ひとつの、大きな作品へ。
ここでしか出会えないいきものたちに、ぜひ会いにきてください。

森も、川も、鳥も、虫も。みんなで表現する、“奥多摩のいきもの”。

exhibition

参加もできる展覧会

会場には絵を描くための専用用紙をご用意しています。ご希望の方は、その場で描いた一枚をぜひ会場に展示してみませんか。

present

缶バッジをプレゼント

展示を見ながら答えを探す、いきものクイズをご用意しています。挑戦者にはオリジナル缶バッジをプレゼントします。

奥多摩町まちづくり委員会について

奥多摩町に関わる有志のメンバーで構成される、官民協働のまちづくりチームです。行政と連携しながら、観光・自然環境・文化・教育といった分野を横断して、地域課題の解決と町の魅力発信に取り組んでいます。



お問い合わせ
せせらぎの里美術館：TEL 0428-85-1109
まちづくり委員会事務局（奥多摩町企画財政課企画調整係）：TEL 0428-83-2360